

牛糞及び食品残さを原料とする完熟堆肥を利用した水稻の生育、収量

福島県農業試験場 冷害試験地
平成15～16年度福島県農業試験場試験成績概要

1 部門名

水稻－水稻－土壌改良・土作り、施肥法
分類コード 01－01－10130000

2 担当者

小森秀雄、笹川正樹

3 要 旨

牛糞及び食品残さ由来の完熟堆肥とソバフスマの施用による水稻の肥効を把握するために、期間溶出量を調節できる苗箱全量施肥の生育・収量と比較検討した。

- (1) 牛糞及び食品残さ由来の完熟堆肥100kg/aとソバフスマ15kg/aを基肥として施肥した結果、初期生育から減数分裂期まで、シグモイド型100日タイプの全量苗箱施肥法(以下100日タイプと略す。)に類似した生育であった。
- (2) 乾物重は、出穂期までは100日タイプとほぼ同じ乾物重であったが、出穂期から成熟期までは、乾物増加量が100日タイプの70%以下であった。
- (3) 収量は慣行栽培の91%であり、100日タイプとの比較では、94%であった。100日タイプと比較すると収量構成要素では総粒数がほぼ同じであったが、登熟歩合と千粒重が小さく、出穂期以降は栄養凋落気味の生育であった。
- (4) 以上のことから、牛糞および食品残さ由来完熟堆肥100kg/a＋ソバフスマ15kg/aの施肥は、出穂期(移植後75日程度)までは、100日タイプ並の生育を示すが、以後は持続しないため穂肥が必要と考えられた。

4 その他の資料等

なし